

鳥取市 人権啓発ビデオ～病気にかかわる人の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
F5	HIV/AIDSが誰にもわかるDVD ～Let's talk. Let's go in for testing.～	DVD	20分	平成21 (2009)年		あなたはHIV/AIDSのこと、よく御存知ですか。もしかしら、「自分には関係のないこと」と思っていないですか。「HIV/AIDSが誰にもわかるDVD」が、あなたの悩みを解決します！
F6 F12	虎ハ眠ラズ ～在日朝鮮人ハンセン病回復者 金泰丸～	DVD	30分	平成23 (2011)年	字幕 ちらし	金泰丸さんは不思議な魅力に溢れている。想像を絶するような過酷な人生を歩んできたはずなのに、限りなく、やさしく、豊かで深く、そして勁い。大らかな人柄と穏やかな語り口が醸し出す何とも言えぬ柔らかさに誰もが引きつけられ癒される。こうして各地に息子や娘が次々と生まれてくるのだ。
F7	人間回復の橋、心のかけ橋となれ ～ハンセン病を正しく理解するために～	DVD	29分	平成14 (2002)年	ちらし	ハンセン病が医学の進歩で「治癒する病気」になってから久しい。長島愛生園、邑久光明園の入園者が待ち望んだ「人間回復」の象徴・邑久長島大橋が島と本土を結んだ。1世紀にわたり患者やその家族を苦しめてきた「らい予防法」は廃止され、国がかつての隔離政策の過ちを認めた。残る課題は、ハンセン病を正しく理解することで、人々の心に残る偏見や差別をなくすことである。
F8	認知症の人の心を感じて	DVD	24分	平成21 (2009)年	ちらし	このDVDは、認知症の方を支える人に、認知症の人の心の動きを映像によって感じていただくために作られました。ビデオには家族と認知症の人とのかかわりを描いた3つのシーンが収録されています。それぞれのシーンは必ずしも適切な関わりが描かれているわけではありません。講座や研修での視聴後に、「認知症の人の心」について、感じたことを話し合ってください。
F9	認知症そのこころの世界	DVD	20分	平成21 (2009)年	ちらし	このDVDに出演する認知症の人は、認知症の人を演じる技術をもった、認知症模擬演技者研究会のメンバーです。模擬演技者は演技の後に、認知症の人がそのとき何を感じて行動していたかを言葉で伝えます。視聴者は、ビデオを見ながら認知症の人との関わりを疑似体験することで、事例をより深く考察することができます。認知症の人の世界を理解するとともに、私たちにできる認知症の人との関わりについて考えてみましょう。
F10 F18	ハンセン病問題／家族で考えるハンセン病	DVD	56分 20分	平成27 (2015)年	字幕 副音声 ちらし	この教材は、ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。

鳥取市 人権啓発ビデオ～病気にかかわる人の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
F11	いのちに寄り添う～ターミナルケアと人権～	DVD	35分	平成29 (2017)年	字幕 副音声 チラシ、 解説書 (DVDに 収録)	もしも、あなたの身近な人が、重い病になったとしたら？ このビデオでは二組の「いのちに寄り添う」人々に密着取材。 2人に一人が、がんになる時代。 現代に生きる全ての人々が学ぶべき、命の教材です。
F13	みなまた 海のこえ	DVD	40分	平成21 (2009)年		原作の絵や詩にこめられた怨念を映像空間によみがえらせた い、との思いから完成された作品です。この作品を子どもたちを 中心に世の中に広めてゆきたい。この悲劇であり、ポエムを世 界の人々に知ってもらいたい。製作者の強い思いがこめられた 映画です。
F19	もういいかい～ハンセン病と三つの法律～	DVD	143分	平成24 (2012)年		明治から昭和にかけ、ハンセン病患者に対して国が行った隔離 政策などの実態を描いたドキュメンタリー。「癩予防二箇スル件」 (1907年)、旧「癩予防法」(1931年)、「(新)らい予防法」(1953 年)の3つの法律により、ハンセン病患者は療養所という名の収 容施設に隔離させられる。
F20	ハンセン病療養所で受けた私の被害 断種・墮胎	DVD	30分	平成31 (2019)年		ハンセン病療養所では、1915(大正4)年より男性への断種手術 が始められ、以後30年余り法的根拠もないまま断種・墮胎が実 施されました。国も暗黙の了承をしていたという歴史的事実があ ります。戦後の「優生保護法」(1948年～1996年)では「不良な子 孫の出生を防止する」という言葉を用い、ハンセン病患者と配偶 者も対象とされました。ハンセン病療養所で受けた強制断種・ 墮胎の体験を三人のハンセン病回復者が語ります。
F21	家族・親族への思い ～ハンセン病回復者からのメッセージ～	DVD	30分	平成29 (2017)年		2003年3月25日にハンセン病家族・遺族の会である「れんげ草の 会」が発足しました。ハンセン病患者の子であり、家族で会ったこ とを隠し続けてきた人々が、「らい予防法違憲国家賠償請求訴 訟」の裁判で遺族原告として出会い、お互いを知り、家族として 受けた様々な被害を語り合ったといえます。 ハンセン病回復者自身は、家族が受けた被害をどのようにとら えておられるのでしょうか。また家族や親族に対してどのような 思いを持ってこれまで生きてこられたのでしょうか。3人のハンセ ン病回復者の方に証言していただきました。

鳥取市 人権啓発ビデオ～病気にかかわる人の人権問題～

背番号	ビデオタイトル	ビデオの分類	時間	制作年	備考	内容
F22	ハンセン病後遺症とは ～適切な医療・介護を提供するために～	DVD	41分	平成28 (2016)年		ハンセン病療養所退所者や、療養所入所歴のないハンセン病回復者は約3千人いると言われています。しかし、地域におけるハンセン病後遺症の治療や再発に関する医療提供体制は未だ十分に整備されているとはいえない状況です。 「ハンセン病」「ハンセン病に伴う後遺症」についてはすでに保険病名として認められていますが、回復者の方々はほとんどハンセン病歴を明かせない状況です。それは、過去に受けた厳しい差別が今もあり、家族にすら隠している人もいるからです。ハンセン病後遺症を知り、適切な医療・介護を提供するためにぜひご覧ください。
F23	国及び地方公共団体の責務とは ～らい予防法と無らい県運動～	DVD	52分	平成30年 (2018)年		「らい予防法」のもとで、戦前・戦後と続いた「無らい県運動」。国の指導のもと、ハンセン病隔離政策で地方公共団体が果たしてきた役割と責任は大きい。残された行政資料とハンセン病回復者と家族の証言から国・地方公共団体が何をしてきたのかを明らかにし、国及び地方公共団体が早急に取り組むべき課題について考えます。
F25 F26	ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～	DVD	34分	令和2 (2020)年	字幕 副音声 ちらし 手引き	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化。国立ハンセン病資料館学芸員による解説と共に収録しています。 ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。
F27	一人になる 医師 小笠原登とハンセン病強制隔離政策	DVD	99分	令和3 (2021)年	字幕 ちらし 小冊子	ハンセン病隔離政策の最中、「ハンセン病は不治の病ではないし、遺伝でも、強烈な伝染病でもない、隔離は必要ない」と言い続けた一人の医師がいました。 誰もが隔離を黙認していた時代にあって「一人になる」ことを恐れず、一人ひとりの患者を隔離から守ろうとした医師・小笠原登を追った映画です。